



Partnerships
with
Universities

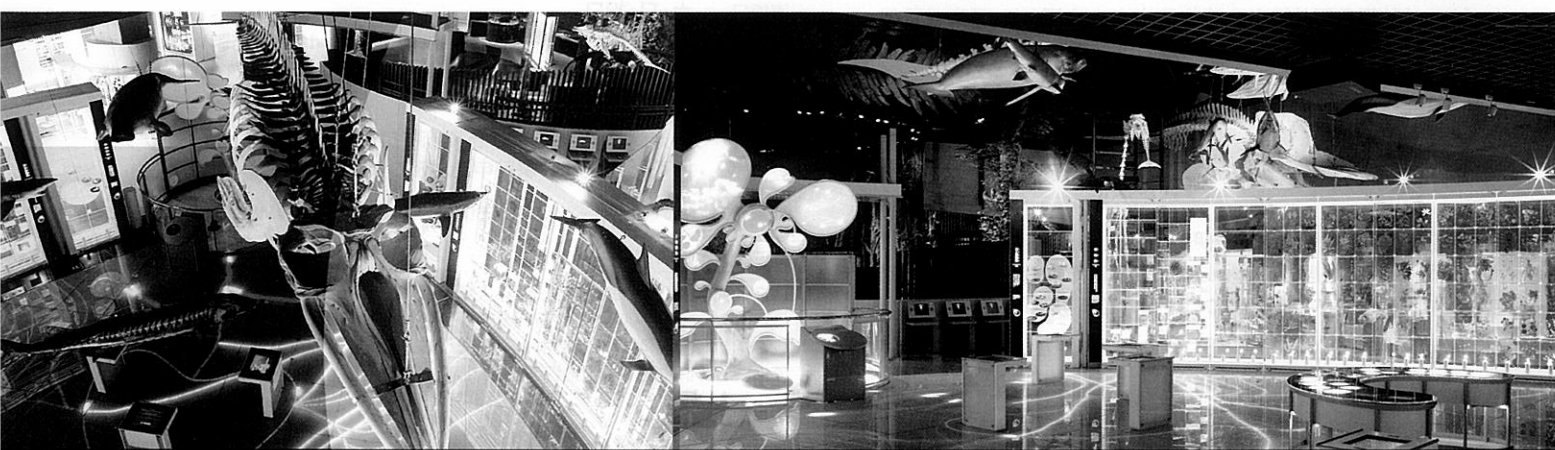
「国立科学博物館 大学パートナーシップ」のロゴが出来ました。

Partnershipの頭文字「p」を重ね合わせ、双葉の形をデザインしました。双葉は、力強く伸びていく様子を表しています。大学と国立科学博物館の連携による大学パートナーシップ事業が発展し、学生の科学リテラシーやサイエンスコミュニケーション能力が向上するようお願いを込めています。



独立行政法人 国立科学博物館

学生証を 120%活用する方法



国立科学博物館 大学パートナーシップ

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」は、入会大学の学生の皆様に国立科学博物館を「楽しく!」「まじめに!」、さまざまなスタイルで活用していただくためのものです。2年目を迎えたこの事業、今後も皆様のニーズに合わせてますます加速していきます!

1 常設展は無料、特別展は特別料金で入館可能

入会大学の学生の皆様は、常設展(通常500円)を無料で、特別展(通常1300円~1400円:平成17年度)を500円引きでご覧いただけます。昨年度は年度途中からの事業開始にもかかわらず、4,000名近くの方が「お得に」当館を利用されています!

この夏開講!

2 サイエンスコミュニケーター養成実践講座

一般の人々の科学離れが叫ばれる今、科学と一般の人々をつなぐ「サイエンスコミュニケーター」の存在が必要不可欠です。当館では、社会の様々なシーンで科学と人の架け橋となる人材を育成していきます。

5月に募集要項を発表

この夏開講!

3 大学生のための自然史講座(仮称)「日本列島の自然史」

日本列島の自然史について、当館の研究者を中心に、動物学、植物学、地質学・古生物学、人類学などのさまざまな観点からアプローチするリレー式講座。35年間にわたる研究の成果を凝縮してお届けします。

5月に募集要項を発表

いよいよ始まります!

4 博物館実習

博物館学芸員の資格取得を目指す方のための実習。当館研究部での自然史科学の体験実習から、上野本館、附属自然教育園、筑波植物園での体験実習までを網羅します。(※平成18年度の実習の申込みは終了させていただきました)

入館(入園)方法

窓口で学生証をご提示ください。常設展を無料でご覧いただける「大学パートナーシップ入館券」を発券いたします。特別展観覧をご希望の方は、館内の特別展会場入口にて、この入館券をお出しいただくとともに、料金をお支払いください。

利用可能施設



国立科学博物館(上野公園)

東京都台東区上野公園7-20
TEL03-3822-0111(大代表)



附属自然教育園

東京都港区白金台5-21-5
TEL03-3441-7176



つくば植物園

茨城県つくば市天久保4-1-1
TEL029-851-5159

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」
入会大学の学生の皆様は

常設展、無料!

企 画 展 など

常設展料金(無料)でご覧いただけます!

「熱帯雨林・その魅力と新鮮な驚き」

インドネシア・ボゴール及びチボダス植物園の興味深い熱帯雨林の景観を中心に、四季の明瞭な日本と比較して、季節変化のほとんどない「熱帯多雨林特有の植物や人々の生活」を、研究成果を交えて紹介します。

開催期間 平成18年5月27日(土)～7月2日(日)

「南方熊楠の森」(仮称)

世界文化遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」に含まれる那智・熊野の森で展開された多岐にわたる南方熊楠の植物学・生態学的業績や様々な人物との関わりを紹介します。

開催期間 平成18年10月7日(土)～11月26日(日) 予定

特別展、500円引き!

特 別 展

「世界遺産 ナスカ展—地上絵の創造者たち」

開催期間 2006年3月18日(土)～6月18日(日)

主催 国立科学博物館、TBS、毎日新聞社

後援 文部科学省、外務省、ペルー共和国大使館、TBSラジオ

みどころ

最先端CGによる体感型、巨大バーチャルシアター

世界で初めて、ナスカの地上絵とそれが刻印された大地を圧倒的な映像クオリティで再現します!

ナスカ人のミイラ、1300年の時を超えた瞳

極めて稀な、瞳の残るミイラを、レントゲン撮影、DNA、食性分析などの最先端科学から明らかにされた情報と共に展示します!

予告

日本南極観測50周年記念「ふしぎ大陸南極展2006」

開催期間 平成18年7月15日(土)～9月3日(日) 会期中無休

我が国の南極観測事業50周年を記念して、その歴史と成果、近年関心の高まっている地球環境や宇宙科学研究への貢献も視野に入れた、南極の特色と観測事業を中心に紹介します。

研究者による **ディスカバリートーク**

常設展料金(無料)で参加できます!

研究者が研究内容や展示について解説する、
参加者との対話を重視した活動

展示制作にまつわるエピソードや研究内容の紹介、フロアにある展示物を実際に見ながらの解説。このような活動を当館の研究者自身が行います。研究者の「生の声」を聴くことが出来る活動です。

これまでのテーマ例

「クジラの話」クジラについて、その生態に関する貴重な映像を見ながら説明。

「カビとキノコのトリビア」カビとキノコが生活のどのような場面で役立っているのかについて解説。

「最新恐竜学」恐竜の展示標本を見ながら、最新の恐竜学を紹介。

「人類の進化をたどる」猿人・原人・チンパンジーの頭骨模型を見比べながら、人類の進化を概観。

「隕石と太陽系」偏光顕微鏡で隕石を観察したり、映像を見ながら太陽系について解説。

実施日 土・日・祝日
時間 午前の部(11時～12時)・午後の部(14時～15時)
会場 上野地区新館各フロアのディスカバリーポケット(地下1階を除く)
定員 各回15名(先着順)
受付 開始時間の15分前から実施フロアの「ディスカバリーポケット」にて受付。予約、事前申込はありません。

当館ウェブサイトにてスケジュールを公開しております。URL: <http://www.kahaku.go.jp/>

研究者について

国立科学博物館には、動物・植物・地学・人類・理工学の5つの研究部等に約80人の研究者が所属しています。各研究者は、日々専門分野の研究を行ったり、展示や特別展を企画・制作したりしています。国立科学博物館のホームページにある「研究」(<http://research.kahaku.go.jp/>)では、各研究者および研究内容等を紹介しています。

ナー、スカットするだろ。

